



Le Journal de l' Etoile.

中 3 研修旅行～2・3 日目

2 日目、語り部の朴さんのお話を伺いました。当時中学生だった朴さんは、8 月 6 日たまたま学校を休み、路面電車に乗ったところで被爆したと聞いています。午前 7 時 9 分に発令された空襲警報も午前 7 時 31 分には解除されており、一瞬何が起こったか理解ができなかったそうです。8 月 6 日は、建物疎開と呼ばれる建物を取り壊す作業が広い地域で行われており、そこで働いていた学生たちが数多く被爆しました。授業で視聴した別の語り部さんのビデオとは異なり、本人の声を直接聞くのは心に強く響くような感じがしました。その後平和公園内の碑を巡りました。韓国人原爆犠牲者慰霊碑には韓国・朝鮮人が 2 万人ほど被爆したとあります。原爆は決して日本人だけが被害を受けたわけではないことを強く実感します。「核兵器が地球上から姿を消す日まで燃やし続けよう」という願いが込められた「平和の灯」が早く消えることを願うばかりです。

午後は班別の広島自由研修。僕らの班は、フェリーで宮島へ向かいます。宮島到着後すぐ、道に当たり前のように鹿がいることに驚きました。道中パンフレットを鹿に食べられそうになっている人も発見。お土産としてもみじ饅頭を買い、表参道商店街を散策。焼き牡蠣や穴子飯、広島レモン入りのコーラなど、広島らしいものを食べてまわりました。厳島神社を参拝し、大鳥居を見ます。幸いにも干潮に近かったこともあり、近くまで進んでいくことができました。

3 日目、広島から京都へ移動。その後、コース別研修へ。僕は考古学体験コースを選択しました。博物館の職員さんに縄文時代からの土器・古墳などの流れを事細かに説明していただき、実物にも触れることができました。石包丁は川にありそうなサラサラした石という印象です。実際、用途としては稲穂を切るというよりは折って千切るというイメージに近いようで、切れ味は必要としていなかったのでしょうか。大昔は一つ一つの用途に合わせて数多くの土器が存在していたということです。続いて、土器修復体験をさせていただきました。同じ古墳から発掘された無数の欠片から、パズルのように組み合うものを探してくっつけるというものでした。これがものすごく難しく、多少の違いはあれど色も形も似ているものばかりで、40 数人でくっつけられたのは、わずか 2 組のみ。プロの方は 1 日 1 つの土器が完成できる、と言っていたがやはり職人技だなと感じました。最後に古墳群を見せていただく。側から見ればボコボコとしている地面ですがその凹凸一つ一つが古墳となっていて、遺体や土器などが入っており、階級なども把握できるそうです。(中 3 H・T)

